

## 第4章 まとめ

本計画では、南国市における一般廃棄物（ごみ、生活排水）における現状を把握し、国及び高知県による減量化等の目標を踏まえた将来計画を策定した。

本計画で示した課題を解決し、目標の達成に向け、主に以下の課題解決に向けて施策を展開していく。

### 1. ごみ量の削減と資源化率の向上

南国市では、今後、家庭系ごみが減少することにより、全体のごみ排出量は、減少していくと予測されているが、事業系ごみは増加すると予測される。

今後は、本計画で掲げた削減目標を達成するため、一層の普及啓発を行い、排出者である住民、事業者の取組みが向上するよう努める。

また、排出抑制とともに、平成28年度現在、約14.8%に留まっている資源化率の向上を目指し、分別収集への協力を呼びかけていく。

特に、企業・店舗の市街地への進出が多く、地域活性化の一方で、事業系ごみ増加の要因となっているため、事業所に対し、ごみの排出抑制への理解と協力を促していく。

### 2. 合併処理浄化槽の整備促進

都市部、平野部、山間部、海岸部といった多様な地域を併せ持つ南国市では、市街地における下水道、農業地域における農業集落排水処理施設等の集合処理による生活排水処理に加え、合併処理浄化槽による個別処理の普及を推進している。

今後は、下水道事業の見直しによる運営の効率化、集合処理の加入率向上及び合併処理浄化槽の普及促進について、住民の理解と助成制度の充実、普及啓発を継続し、水洗化率、合併処理率の向上を目指していく。